

加茂小学校校報第〔20〕号

嬭 村尾 隆晃



加茂っ子



か も だ い す き

も り も り げ ん き

の び の び や さ し い

こ つ こ つ ま な ぶ

令和4年10月18日

ようこそ先輩!!



◇東京霞ヶ関にある文部科学省外局のスポーツ庁（室伏広治長官）地域スポーツ課から地方行政等実務研修

のため雲南市で1ヶ月間研修中の中島伊

織さん（群馬県出身、東北大学法学部卒業後文部科学省入省）が10月13日加茂小学校に来てくださいました。この日午前中は、5年生の体育・算数と6年生の社会・国語に入ってくださいました。6年1組で給食を食べ、午後は『ようこそ先輩授業』と題して、中島さんから5・6年生がお話を伺いました。お話の概要を以下箇条書きにします。

* 中島さんはスポーツ庁でどんな仕事をしておられるのか…人生100年時代、society5.0時代の教育、科学、スポーツ、文化に関わる仕事←とてもやりがいがある

* Q：何故勉強をするのか？ A：未来を幸せに生きるため←みなさんの可能性は無限大!!

* 公務員とは、社会の土台作りを仕事とする人である。文部科学省＝“未来省”と言われている〔日本の未来（子どもたちの成長）を担っている。ひと×知恵＝“未来”〕

* スポーツ庁で働く魅力は…①大きな達成感がある（例えば：夏の甲子園の文部科学大臣の挨拶の原案を考える等）②知的好奇心の刺激がある③多様な経験で自らを成長させることができる。

などなどたくさんのお話に子どもたちは目を輝かせながら耳を傾けていました。質問コーナーでも子どもたちの素朴な質問に真っ直ぐに向き合って答えってくださいました。

夢発見ウィーク

中学生職場体験



◇10月12日（水）～14日（金）の3日間、本校出身の加茂中学校3年生、江角茉乃（えすみ まの）さんと福島愛咲（ふくしま あいら）さんの2人が、職場体験学習に来てくれました。次ページに3日間の『夢発見ウィーク』を終えての2人の感想を載せます。（感想は、それぞれのタブレット端末で作成した物を加茂小学校長アドレスに送信してくれたものです。）



江角 茉乃さん

◇3日間の「夢発見ウィーク」では、小学校の教師の仕事だけでなく、養護教諭や図書館の司書、校務技師の仕事の体験や見学も経験することができました。

1年生から6年生の授業の見学をさせていただいて、先生方がどのように授業を進めておられるかや、どういう風に児童と接しておられるのかなど、自分が教わっていた時にはあまり気にしていなかったことを学ぶことができました。小学生の皆さんは、授業中に発表をしたり、先生の質問に対してのつぶやきをしたりすることができる人が多いと思いました。そのような人が多いのは、小学生の皆さんが積極的に発表などをしようと思っていて、それを実行する力があるからだと思いましたが、それだけでなく、先生方が発表をしやすい環境をつくられているからなのかなと思いました。

校長先生のお話を聞いた時に、校長先生は、

「人が相談するときは、何か意見が欲しいというよりも、自分の意見を肯定してもらって、自分の意見に自信をもって動きたいと思うからだと思います。なので、人に相談されたときなどは、しっかりと聞いて、自己決定をうながす力が必要になります。」

と、言われました。そのお話には、私もすごく共感しました。私も相談するときは、相手に共感してほしいと思うからです。なので、私が相談を聞く側になった時は、しっかりと聞いて、相手の気持ちなどをできる限り理解しながら、自然に相手はどうしたいかを聞けるようになりたいと思いました。

今回、学校関係の仕事の体験や見学をやらせていただいて、自分が小学校に通っていた時にはよく分かっていなかった仕事についても知ることができたので、とてもいい経験になったと思います。



福島 愛咲さん

◇はじめはすごく緊張したし、不安だったけれど、みんなが話しかけてくれたり、先生方も優しく教えてくださったりして、すぐに緊張もほぐれたし、小学校の先生の仕事も分かってよかったです。校長先生からのお話で、3つのワーク（フットワーク・ネットワーク・チームワーク）が大切だったり、常に目的は何かを意識しながら、手段が目的とならないようにしたりすることなどが、教育という仕事をしていく上で大切だと言うことがわかり、先生方は、とてもたくさんの方のことを心がけながら仕事をしてもらいたいへんな職業なんだと思いました。また、若さは大きな武器ではあるけれど、人はいつまでも若くはられないので、30～40歳頃までに、安心してどんな学年でも担任させることができ、どんな仕事でも任せられるよう力をつけていかなければならないと聞いて、私も力をつけたいと思いました。

私は、話すことが苦手だけど、校長先生のお話のように、まずは「聴く力」から伸ばして行きたいと思いました。『依存型』のところを『自律型』に少しずつでも変えていきたいと思いました。校長先生のお話にあった「他の喜びを自分の喜びとする」という言葉を明日からの生活で心がけていきたいと思いました。

3日間小学生のみんなと過ごして、朝のあいさつや休み時間に遊ぶ元気な姿、授業で頑張る態度などこれからたくさん成長していくところをもっと見たいと思いました。この職場体験で学んだことを中学校ラストの生活やこれからの人生に生かしていきたいです。この3日間大変貴重な体験をさせていただき、とても楽しかったし、小学校で職場体験ができて、心からよかったと思っています。本当にありがとうございました。



おめでとう!!



第24回 『税に関する絵はがきコンクール』受賞者

- | | | |
|----------------------|----|----------|
| ☆ 公益社団法人雲南法人会長賞 | 6年 | 舟木 佳穂さん |
| ◎ 雲南地区租税教育推進協議会代表幹事賞 | 6年 | 嘉本 麗央さん |
| ○ 入選 | 6年 | 山崎 華鈴さん |
| ○ 〃 | 6年 | 梅澤 柚稀菜さん |
| ○ 〃 | 6年 | 藤本 多美さん |
| ○ 入選 | 6年 | 飯塚 さやさん |
| ○ 〃 | 6年 | 佐藤 結愛さん |